

後期の受講生を募集

成人学級

受け付けは28.29日

市公民館では、成人学級後期の受講生を次のとおり募集します。

全講座の課程を修められた方には修了証書が渡されることになり、この六月月間で会場は各講座とも公民館で行なわれます。

募集科目と内容

科目	開講日	講師	内容	定員
合唱	月曜六時	上野 克祐	混声合唱	二〇
詩吟	火曜六時	滝沢 実顕	朗詠 朗吟	二〇
写真	金曜六時	垣本 紀一	引伸技法と鑑賞	一五
手芸	水曜一時半	氏野 登美子	編物、人形、刺しゅう	一五
書道(かな)	水曜六時	福田 芳春	毛筆 かな	二〇
書道(漢字)	水曜六時	生田 碧蘭	毛筆 漢字	二〇
絵画	木曜六時	溝畑 ミツ	デッサンから油絵まで	一五
英会話	金曜六時	M・フユース	日常会話 外人と話せるまで	二〇
文学	毎月一回	大学教授ほか	日本文学の古典	三〇
生活の科学	毎月一回	専門 家	日常生活に結びついた事項	三〇
心の科学	毎月一回	〃	心理・教育・精神衛生	三〇

成人学級の利用者は毎年増える一方、とかく、仕事や家事に追われ勝ちな市民の方々の生活に支

郷土史講座を開講

29日から 市立労働会館

市立労働会館では、今月二十九日から二ヶ月間にわたって郷土史講座を開講します。

昨年、労働講座の一つとして郷土文化についての講座を開講しましたが、その時の参加者も市民の方々から、もう一度、郷土史の講座を開いてほしいとの要望もありましたので、今回は独立の郷土史講座として郷土文化を研究されて一月二十日までに十回

秋の美術展 作品募集

今年の市民文化祭は10月16日から行なわれますが、この行事の一つとして市美術展を開催します。展示作品は市民の方々から募集します。募集要領は次のとおりです。どしどし力作をお寄せください。

会期 10月22日から26日まで。
作品の搬入10月19、20日の午前9時から午後6時半まで。公民館。

出品資格 八尾市民またはこれに準ずる15歳以上の者。

体裁と制限
絵画 洋画50号以内、日本画4号以内、商業美術全紙以内。いずれも額にはるか表装のこと。1人1点以内。
書道 四平方以内、裱張または軸表装のこと。
写真 単写真に限る。白黒四ツ切以上全紙以内。題自由、裱または白色台紙張。1人1点。
手芸 刺しゅう(フランス、スウェーデン、日本、リボン)、人形(くるみ、桜、日本、フランス)、ローケツ(布地または皮地) いずれも1人3点以内。
彫刻 1号以内。
応募作品は審査のうえ、入選作品を陳列します。入選作品のなかから審査し、優秀作品には賞が授与されます。

三歳児の健康診断

■三歳児は、発育に、将来の人格形成に大切な時期です。歯をみがいたり、手を洗ったり、正しい発音をおぼえるなど、こどもたちが社会人として生活していく基礎を身につけていく頃にあたります。

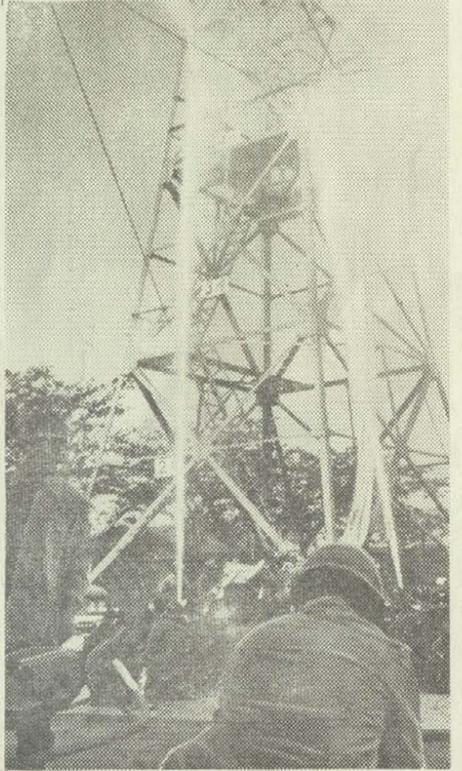
■三歳児の健康診断に 発音のしかた、栄養、病気の有無など健康診断だけでなく、歯の検査、精神の発達状況、食欲の不摂、いろいろのくせなどの相談・指導を行ないます。また心身障害児の早期発見も行ないます。

■該当者 昭和37年9月1日から昭和38年8月31日までに生まれた人。

■受診の費用はいりません。会場においてになるときは母子手帳を忘れずにお持ち下さい。

なお、この健康診断をうけた三歳児の中から、健康優良児を選んで表彰します。

日	場
8日(木)	山本労働会館
9日(金)	中高安小学校 南高安小学校 用和小学校
12日(月)	隣保館
13日(火)	北山本小学校
14日(水)	電華小学校
16日(金)	八尾保健所



消防署で防災訓練

九月一日は「防災の日」。災害は忘れた頃にやってくるというわれわれの生活は、災害の中でも台風、地震、火災、水害、七時警報以下約百人の警員に非常召集がかり全員の警員に集合、大橋市長も出席し、防災本部を設置、次々に入る情報に機敏な処置をとる。消防本部では毎年、この日、早朝から実際に台風が八尾付近を通過することを想定して防台

公民館まつり

16日から18日間 志紀

開館十五周年を迎える志紀公民館では、今月十六日から十八日まで恒例の公民館まつりを行ないます。

今回は隣木で鳥や魚を形どった創作作品やこどもたちが夏休みに採集した昆虫や植物、婦人会による手芸など趣味をいかに作品が展示されます。

また、十八日午後一時から志紀中学校体育館で青年団、子供会、婦人会ら出演による演奏会も行なわれる予定です。

地区の方はもちろん広く市民のみなさんの参加をお願いします。

市職員を募集します

市では、事務、技術職員の採用試験を次のとおり行ないます。

職種と人員 ①事務系…上級(法律・経済)初級(高校)
②技術系(土木・建築)…上級、中級、初級各若干名。

資格 ①上級は大学を昭和40年3月以降に卒業か昭和42年3月卒業見込の男子
②中級は短大、工業高専を昭和40年3月以降に卒業か昭和42年3月卒業見込の男子
③初級は高校を昭和40年3月以降卒業か昭和42年3月卒業見込の者(技術系は男子のみ)

試験 第一次筆記試験…9月23日(金)午前9時市立清友高校で

科目 一般教養試験と各専門試験

申込 申込は人事課交付の申込書に必要事項を記入し各制型写真1枚、卒業証明書か卒業見込書、成績証明書各一通添付の上9月20日までに人事課へ申し込んで下さい。

くわしくは、総務部人事課(電話2局3381)へお問い合わせ下さい。

老人ホーム おくりもの

老人ホームに下さる方々から、区、煙草等、匿名、衣類、箱、あたたかい贈りものをいただいた。厚くお礼を申し上げます。

(敬称略)

△寄付金
三百八十五円 相生町二丁目 船等 電華中学校 森榮 紀美子(相生町) あんげん 大西兼雄(植松町) サ イター 野村 三三子(末広町) ぶらう 村井重雄(恩智) 衣類 野忠勝(恩智) ぶらう 北文衛(南本町) 精米 木智忠(羽曳野市) お菓子 近藤広子(山城町) お菓子 難波別院松井恵光 北久至寺町 中国圓報 阿尾影(久宝寺) 花瓶 西木明子(天王寺区) 老人ホーム新築御礼 以上八月中の分



史跡めぐり (第十三回) 恩智・教興寺の巻

お初徳兵衛墓 鎌倉時代に西大寺の僧が大通寺境内にあり、俗に夫婦塚といわれている。高さ二〇cmの花崗岩に表に「南無阿彌陀仏」の六字が陰刻してある。

伝説によると、教興寺村の宗二という者の娘お初は、大坂曾根崎につとめ、同じく大坂の木桶問屋の善子徳兵衛と恋仲となり、父宗二の病氣に足利直義が蘭国に安国寺を教興寺村に建てた二人は、教興寺の任職僧和向に相談して、お初と和向の縁を結ばせられたといわれる。しかして、徳兵衛は教興寺の寺男として勤め、お初は年季のあけこに陣を取った河内の国の守

俗に敷寺の名で知られる教興寺。二入は自護山高政は、三好義興と松出度々夫婦となること出来、永々秀の軍勢が押し寄せた。しかしその後もなく徳兵衛が病死し、またその跡を、あえなく破れて退き、教興寺は焼かれてしまった。

江戸時代になって、延宝七年(一七六九)に寛政浄和向が当寺に入り、これを再興した。浄和は備前都賀村の出身で、高野山に上り、真言律をきわめ、梵語を研究した学者で、五代將軍頼朝吉やその側用人柳沢吉保の信仰を得て、江戸に行き、瑞雲寺や豊樂寺を建立し、元禄十年(一六九七)には、高弟蓮休和尚にこの教興寺を譲って江戸に移り住んだ。有名な僧侶沖中庵住の延命寺で浄和和尚に灌頂をうけ、悉曇の教をうけた人物子屋を討ち滅ばされた時、兵士の巻を終りますが、次回から南部方面を掲載。